

大久保北部市有地(約19ヘクタール)ってナニ?

議論がなされています

「環境保全」か「開発」か。

この土地は、かつて宅地開発用に取得されたものの、現在は市街化調整区域となり、ほぼ半世紀にわたり遊休地に。里山としての自然環境保全を望む声がある一方、第二神明道路が近い立地を活かした物流倉庫やスマートICとしての活用も提案されています。



市の調査では、希少な動植物63種を確認



雨は栄養を蓄え、ゆっくりと川や海へ

市政報告会でアンケートを実施

11月に会派で市政報告会を実施。

そこで行ったアンケートでは、68人中51人の方から「自然保護しつつ、子ども達の学びの場として活用してほしい」、「一度壊れると二度と元に戻らないので大事にすべき」といった保全を望む意見が集まりました。

市民の会はこう考える

水田や畑に接続している里山は、「自然のダム」の役割を担い、里地里山生態系にとって重要な要素に。森・川・里・海を一体として捉え、保全・保護していくことが大切です。市民の会は、「里山条例」を策定し、持続可能な自然環境の保全に取り組んでいきたいと考えています。

明石の「水」って大丈夫?

何が問題視されている?

明石市と神戸市にまたがる「明石川」流域で、住民の血中から高い濃度の有機フッ素化合物(PFOS・PFOA)が検出されたと報道。特に「明石川」は市内における水道水の取水源の一つとして、市民に不安が広がりました。

明石の水、飲んでも大丈夫?

令和2年度、国が水質の暫定目標値を設定。明石市では、さまざまな低減対策がなされ、市内の給水末端すべてにおいて、その暫定目標値をクリアしています。直近の測定では、目標値の1/5以下に抑制。飲み水としてまったく問題ありません。

明石の水、これからも大丈夫?

明石川河川水は、水量・水質ともに不安定。そこで令和7年度より「阪神水道企業団」から水道水の受水開始予定(令和10年度中に明石川河川水からの取水を完全廃止予定)。また明石市は上流における有害物質の発生源特定を神戸市へ依頼。明石市議会では、市長へ「市民に対して、日々の不安を払拭する情報発信を行うこと」の申入書を提出しています。

<建設企業常任委員会で「阪神水道企業団」を視察>



取水場は大阪市、浄水場は尼崎と猪名川に位置

明石市議会の "新しい風"になる!

どんな人が議員になっても、活動しやすい議会へ。どんな人にとっても、わかりやすい議会へ。歴史ある明石市議会のさまざまな「あたりまえ」に対し、新人ならではの視点で提案・改善にチャレンジしています。

議場への水の持ち込み禁止?!

持病の関係や体調管理における必要性を訴え、「議長の許可を得れば、持ち込み可」となりました。

会派控室用のPCは1人1台も必要なの?!

「政務活動費」でPCを1人1台用意することも可能でしたが、

会派控室のWi-Fi通信費を新たに認めてもらい、各自がすでに持っているPCを活用した執務環境を整備し、省コスト化を実現!

市政報告会は支援者だけにこぞんまりと?!

「市民の会」を応援していただいている人も、そうでない人にも、広く開かれた市政報告会を。お買い物やお出かけついでに目を留め、市政に関心を抱いていただけるよう、明石駅前パピオス2階「あかし市民広場」での公開市政報告会を始めました。

議会内における決め事は、どんなに些細でも、以下のステップを経て、はじめて変えることができます。道のりは長い!

- ①代表者会や政務活動費検討会などの合議体で提案する
- ②各会派に持ち帰り、意見がまとめられる
- ③再び合議体で話し合い、承認される



あしがき

タイの骨、飲んだことありますか? 小骨ではなく、そこそこ太めの骨。どんくさい私は最近、慌てた拍子にそこそこ太めの明石鯛の骨を丸のみしてしまった。明石海峡の荒波で鍛えられた鯛の骨は、骨折した跡があるなど、よそのタイとは違う頑丈さがあるらしい。たしかに飲んでみて、その頑丈さに手術を覚悟した。私たちは明石鯛のごとく、荒波すらも味方につけて、たくましく泳ぎぬいていきたいと思う。やさしい明石をめざして。

市民の会 だより



発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1丁目5番1号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com ※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています

12月議会が閉会 これからも「市民目線」の政治を継続!!

あっという間に議員としての8か月が経過。私たちの強みは、5人それぞれが得意とするテーマがあること。12月議会においても、過去2回の議会と同様に、会派5名全員が一般質問の場に立ちました。来たる3月議会では、新年度予算の議論も本格化。私たち市民の暮らしを第一に、「市民目線の政治」と「やさしいまち明石」をこれからも必ず継続させていきます。

さて、前回好評だった「あかし市民広場」での市政報告会を今回も開催します。入退場・飲食自由という気軽さで、「今まで市政に興味を抱けなかった」という方も大歓迎。また各議員は、日々の活動をSNSで積極的に発信中。「市政を身近にすること」も、私たちなりのチャレンジです。ぜひ一度、覗いてみてください。



中川 夏望
なかがわ なつみ
総務常任委員会所属



山中 裕司
やまなか ゆうじ
生活文化常任委員会所属



黒田 智子
くろだ ともこ
文教厚生常任委員会所属



金尾 良信
かなお よしのぶ
文教厚生常任委員会所属

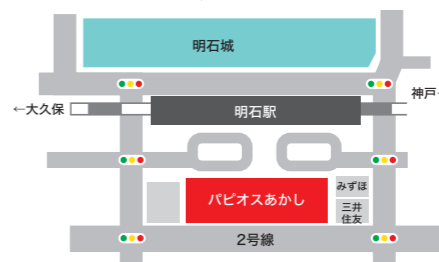


山下 祥
やました しょう
建設企業常任委員会所属
(副委員長)

市政報告会のお知らせ

「市民の会」は、市政のこと、議会のことを市民の皆さんにわかりやすくお伝えしていきます。
※子育てやお仕事忙しい方のために、オンライン配信もいたします。

1月27日(土)
18時~20時
パピオスあかし2階
あかし市民広場
JR明石駅南口すぐ
(明石市大明石町1丁目6-1)



2F あかし市民広場

※ご参加人数把握のため、ご協力をお願いします。

ご参加ご希望の方(オンライン配信のご希望も)は、QRコードを読みとり、開催2日前までに登録をお願いいたします。

※ご登録なしでの当日参加もできますが、会場準備のため、できるだけ事前にご登録をいただけましたら幸いです。



12月本会議トピック

「打ち上げ花火の安全な実施のために、市と市民が協力して取り組む安全に関する請願」が採択されました

「市民の声」を市政に届ける手段の一つが、「請願」。議会では、紹介議員を通じて提出された請願について、採択するかどうかの賛否が問われます。

12月議会では、11月3日に明石市内3ヶ所で打ち上げられた「シークレット花火」を契機とした、表題の請願が市民団体より提出されました。

市民の会では、賛否検討の過程でご遺族の方のご意向もお伺いし、賛成を表明。なにより「市民の安全」が第一であり、花火ありきではなく、まちのにぎわいや経済活性化を目的に、市は慎重に調査研究していくべきだと討論しました。

請願の項目

1. 令和6年度、明石市と市民の協働による打ち上げ花火実施に向けて具体的な調査研究を行うこと。
2. 安全を協創するために明石市が打ち上げ花火実行委員会に参画し、実行委員会の一員として主体的にかかわること。

12月本会議における「一般質問」(抜粋)

中川 夏望

なかがわ なつみ

下記のテーマのほかに、子育て支援のさらなる拡充について質問しました。具体的には、現在もゆるく残る育休退園制度の廃止や、ベビーシッター型の病児保育の実施に加え、医療的ケア児の保育園入園に対する支援について伺いました。これからも医療的ケア児や子育て支援に関する質問を継続していきます。

●医療的ケア児への対応について

(要旨)ワンストップで相談できる市役所窓口の設置に向けた進捗は。また庁内に医療的ケア児の専門職員配置やパンフレット作成を検討してはどうか。

(答弁要旨)関係部署、医療、福祉が連携した窓口は2024年秋に設置予定。設置に合わせてリーフレットを作成し、定期的な保護者サロンを開催。個々に寄り添った支援に努める。

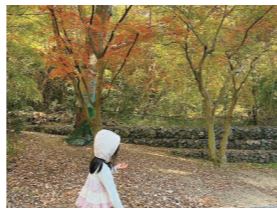


子どもの遊び場、ハレハレにて

●インパクト投資について

(要旨)SDGsを達成するためには民間活力を導入することが不可欠。ソーシャル・インパクト・投資(SIB)やSDGs債を活用してはどうか。

(答弁要旨)SIBについては導入障壁が高い。他市の動向を踏まえ慎重に検討。SDGs債について、本年はグリーン債を購入した。今後はグリーン債の発行も検討。



自然豊かな金ヶ崎公園

山中 裕司

やまなか ゆうじ

ごみに関する問題は、世界的なテーマ。本市でも、家庭系ごみ・事業系ごみともに増加傾向にあります。今回は「環境」からの視点で質問をしましたが、ごみ減量に向けた取り組みは、環境だけではなく「財政」にも直結。市の未来を見据え、ごみ減量化とリサイクルへの取り組みについて質問をしました。

●ごみの減量に向けた取り組みについて

(要旨)ごみ処理施設の建設を推し進めるのではなく、無駄・浪費・ごみをなくす「ゼロ・ウェイスト」を目指し、市民とともに減量施策を進めてはどうか。

(答弁要旨)ゼロ・ウェイストの考え方も取り入れながら、資源の再資源化に向けた取り組みを進める。またリサイクルについての情報発信も行い、ごみの減量につなげていきたい。



地域の清掃活動

●動物の愛護と適切な管理について

(要旨)飼い主の入院や死亡によって、ペットが取り残されてしまうケースが増えている。行政が連携してペットと暮らす高齢者のサポートを行うべきでは。

(答弁要旨)高齢者や一人暮らしの方に向けての啓発チラシを作成する。関係者や福祉部局とも連携し、取り残されて不幸になるペットを増やさないよう取り組んでいく。



あかし動物センターにて

黒田 智子

くろだ ともこ

議員になって、様々な活動を通して課題に直面しています。数ある課題の中でも、もっとも優先されるべきと考えるのは、今「生きづらい」と感じている一人ひとりに支援が届く「しくみづくり」。そのことを念頭に、以下2点の他に「インクルーシブなまちづくり」についても取り上げました。

●不登校対策について

(要旨)不登校のこどもたちへの「学びの保障」や、家庭と学校以外の「居場所づくり」をどう進めるのか。市全体で今後の不登校支援のあり方を考えられないか。

(答弁要旨)校内に安心できる居場所をつくる。オンラインを充実させる。第3の居場所を増設し「立ち寄れる居場所」づくりも検討。市全体で考える場づくりも進める。

●DV被害者支援について

(要旨)生活を立て直す「自立に向けた支援」が重要だと思うが、どう取り組んでいくのか。市営住宅を活用するなど、明石でステップハウスをつくれぬか。

(答弁要旨)「地域生活リスタート事業」を実施するなど、伴走型支援を始めている。ステップハウスは試験的に始めたい。できるところから更なる自立支援に取り組んでいく。



名古屋の取り組みを視察



インクルーシブパレードに参加

金尾 良信

かなお よしのぶ

障害当事者、家族、関係者の声を聞く中で思うのは、「障害があることは、本人や家族の責任なのか。家族だけで抱えないといけないのか」ということ。私は、社会全体でしっかり支えていくことが必要だと考えます。そのために「福祉人材確保・育成が待たなし」という強い思いで本会議に臨みました。

●介助員、特別支援教育指導員の現況について

(要旨)市内の特別支援学級において、支援が必要な生徒が年々増加しているが、介助員・特別支援教育指導員の現況はどうか。

(答弁要旨)特別支援学級に在籍する児童生徒や、通常学級で特別な配慮を要する児童生徒数の増加が見込まれており、きめ細かな支援ができる体制整備に努める。

●福祉人材の育成・確保について

(要旨)福祉現場のヒアリング結果を受けて、福祉サービスの質を高めるために市はどう取り組んでいくのか。

(答弁要旨)今回のヒアリングおよびアンケートでいただいたご意見を参考にしつつ、全ての職員の方にとって働きやすい・働き続けたい環境づくりの支援に取り組んでいく。



福祉の就職説明会



新人議員研修参加

山下 祥

やました しょう

「こどもを核としたまちづくり」の発展に向け、市内に小児科が少ないという問題の早急な解決を。このほか、市民サービス向上のための新たな財源づくりとして、市民広場大型ビジョンの広告活用も提案。「どうなっているか」ではなく、「こうしたらどうか」と提案するのが、私のスタイルです。

●小児科の新規開業を促進する補助金制度を検討しないか

(要旨)市東部をはじめ、市内に小児科が少ないという声を聞く。他市を参考に、小児科開設に向けた補助金制度の検討を。また夜間オンライン相談サービスの導入も検討を。

(答弁要旨)重要な課題。市長から県知事に財政支援も求めたところ。さらなる検討を進める。オンライン相談サービスも安心を提供できるが、公費負担の発生も。調査研究を進める。

●ビーチのユニバーサル化の進捗について

(要旨)6月議会で「誰もが楽しむことを諦めることのないビーチのユニバーサル化を進めていく」旨の答弁があった。実現に向けた進捗状況を問う。

(答弁要旨)9月に体験会を実施。物品のみならず、体制や資金も課題。実際に障害をお持ちの方にもご参加いただきながら体験会を重ね、課題を洗い出し、持続可能な運用方法を模索する必要がある。



10万人あたりの小児科医師数	
全国平均	119.7人
兵庫県平均	128.1人
明石市平均	72.9人

出典:医師統計調査(令和2年)



海外の先進事例を明石でも